景観形成活動による地域資源の維持管理

下音羽農空間まもろう活動組織（大阪府茨木市）

（しもおとわ　のうくうかん　いばらき）

○　本地域は、淀川北の大阪府北部に位置する茨木市の中でも北部の山間部に位置しており、地区の大半は山林で、小河川に沿って傾斜の大きい棚田が残る農村地域である。加えて、農業耕作面積が1ha未満の農家が大半を占め、少子高齢化が進んでいるため、地域ぐるみで、農空間をまもる必要があった。

○　本取組により、地域間交流の促進が図られるとともに、農道や水路の維持管理のほか、アジサイによる景観形成活動を通じて、地域住民の農村環境保全への意識の向上につながる。

【地区概要】
・取組面積　7.34ha
（田7.24ha、畑0.1ha）
・資源量　開水路2.2km
農道 1.4km

・主な構成員　自治会、見山地区都市農村交流活動推進委員会

・交付金　約219千円（R02）

活動開始前の状況や課題

○　少子高齢化による人手不足で水路の泥上げや農地法面の草刈やアジサイの維持管理（剪定、植栽）にかかる負担が増大し、作業の継続が困難な状況であった。

○　獣害柵の老朽化により、獣害被害が増加し、営農意欲の減少につながるおそれがあった。

【本取組の対象農地】

取組内容

○　水路の泥上げ、農用地法面の草刈、アジサイの剪定や植栽、鹿侵入被害防止のための電気柵の点検及び設置を共同活動として実施した。

【法面の草刈】

【電気柵の設置】

取組の効果

【地域の景観を向上】

○水路・農道とともに、アジサイを適正に管理し、良好な環境を維持することができた。

○取組を通じ、地域住民の農村環境保全への関心の向上につなげ、保全管理する人材の確保を行うことができた。

【景観形成活動】